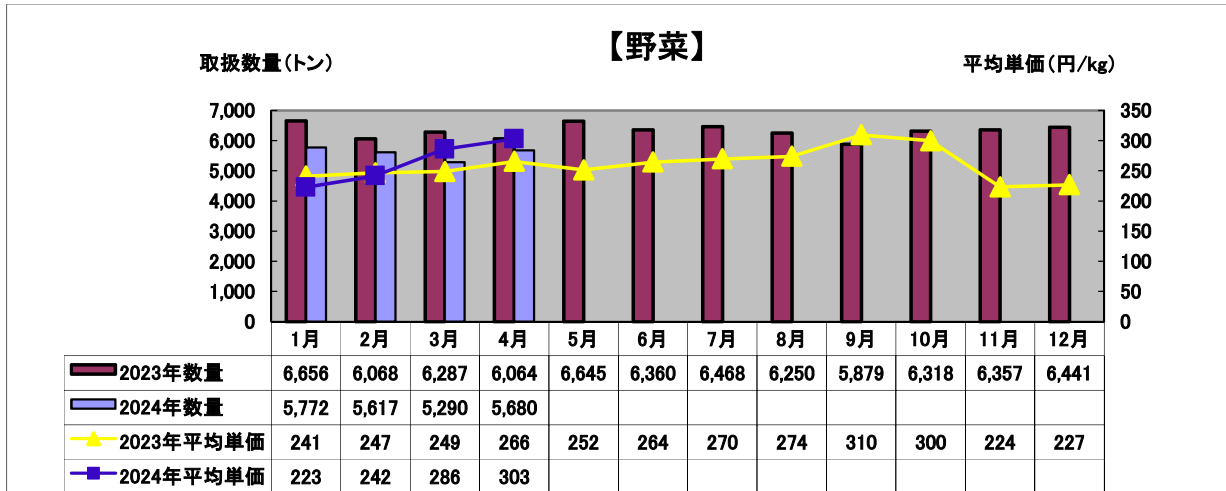
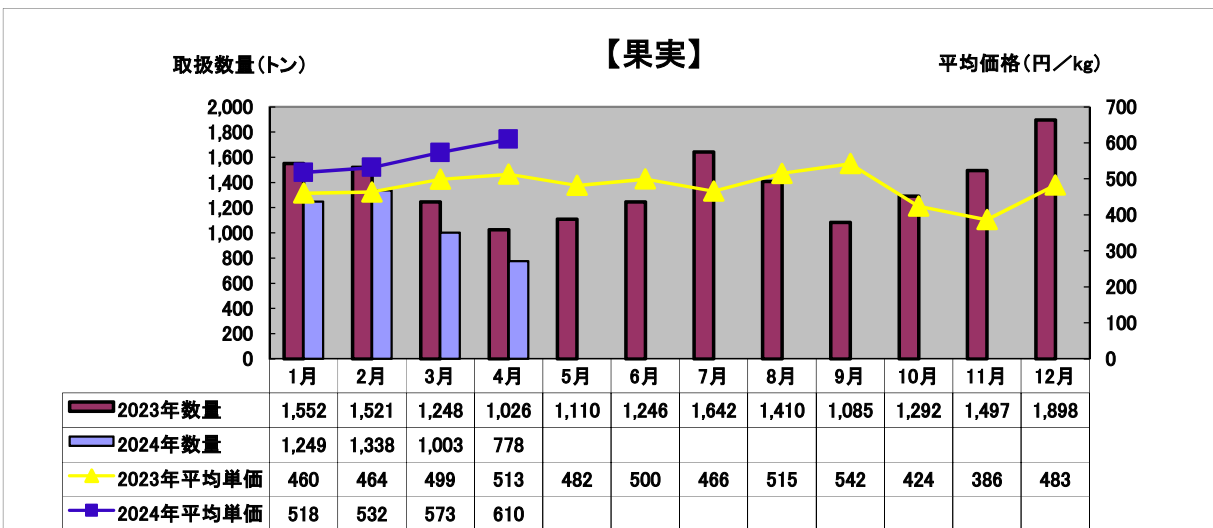


令和6年(2024年)4月 青果部種類別市況



4月の野菜類は、日中と夜の寒暖差が激しく、作柄不良の品目も多かったため全体を通して数量はやや減少し、前年に比べ平均単価は高く推移しました。

前年比数量 94%、単価 114%で終了しました。



4月の果実類は、終盤を迎えつつある晩柑類と始まってきた果菜類ともに入庫が少ないことから果実全体としても数量はかなり減少。単価については高く推移しました。

前年比数量 76%、単価 119%で終了しました。